

奈っ自慢子

子どもたちに身に付けさせたい力 文責 寺脇秀司

主体性： ④ 気づく→⑤ 考える→⑥ 動く

自立貢献：自分のことは自分で行き、人のために行動する。

校訓	なせばなる なさねばならぬ なにごとも ならぬは 人の なさぬなりけり
教育目標	夢・実現 ~自ら学び 自ら生き方を切り拓き 夢を実現する児童生徒の育成~ 3つの力【つながる力】【わかる力】【えがく力】 愛言葉 ④挨拶⑤一生懸命⑥動く⑦笑顔⑧思いやり⑨考える⑩気づく

3月

本校では子どもたちの表現力向上を目指し、俳句や短歌を創作しています。
自転車で 駆け抜けた先 梅の花 中1 佐藤 聖樹

実施できてよかった。卒業式!

3月17日
(火) 新型コロナウイルスの感染拡大防止のための休校期間中、臨時登校日を設



け、令和元年度卒業証書授与式を実施することができました。協力していただいたすべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

当日は、卒業生も在校生も心を一つに、感動的な卒業式を作り上げてくれました。

卒業生の顔を見ていると、「卒業式が実施できて本当によかった。」と安堵の気持ちが込み上げてきました。

ほぼ、ぶっつけ本番で実施した小学生の「別れの言葉」では、卒業生が「私たちの胸は、卒業の喜びと、未来への希望でいっぱいです。」と述べ、在校生は、「いろいろとお世話をしてくださりありがとうございました。」と感謝の言葉を述べました。



(小学校卒業生) (送辞 窄中玲央さん)

《送辞一部紹介》
卒業生の皆様とは、小学校に入学してからずっとこの学校で一緒に過ごしてきました。八年間、私たちの憧れの先輩であり続けました。私たちが困っていると、一緒になって考え、私たちが何かを達成できると、一緒になって喜んでくださいました。そんな先輩方の背中に憧れ、先輩方は私たちの目標になりました。

《答辞一部紹介》

楽しかったこと、苦しかったこと、さまざまな経験を通し成長できた中学校生活でした。中学校に入学した当初はあまり(答辞 葛島野乃香さん)の忙しさに、苦しくなることも多くありました。それでも、みんなに協力してもらうことで、忙しさや苦しさも乗り越えることができました。



部活動を通して、自分のためだけではなく、誰かのために頑張ることの大切さ、仲間の大切さに気付きました。きつくなってやめたくなくても、「あの人のために」とやる気がわくようになってきました。この学校での3年間は、私に大切なことを教えてくれました。

《校長式辞一部紹介》

これからみなさんが生きていく未来の社会は、情報化やグローバル化がますます、進展し、今回の休校のように予測が難しい時代だと言われています。



そのような時代だからこそ自分で「気づき—考え—動く」主体性や「みんな違ってみんないい」という、様々な違いをその人の個性と認めて協力する多様性が求められます。

是非、奈留小中学校で学んだこと、自分らしさを忘れず、夢を実現し、その先にある、みんなを笑顔にし、社会に貢献できる人になってほしいと思います。

私がみなさんに贈る言葉は「ネバー・ギブアップ」(夢をあきらめないで)です。時間がかかってもいい。回り道をしてもいい。あきらめなければ可能性はあります。

一度っきりの人生です。粘り強くがんばってください。

卒業記念品をいただきました。

卒業記念品として中学校卒業生からデジタルフォトフレームをいただきました。子どもたちの活躍の様子を撮った写真を紹介する時に使わせていただきます。素敵な卒業記念品をありがとうございました。玄関に設置予定ですので、保護者の方々もご自由にお立ち寄り、子どもたちの写真をご覧ください。



中3卒業生全員合格

3月18日(水)公立高校の合格発表が行われ、めでたく全員合格し、卒業生全員の進路が決定しました。心からお祝い申し上げます。

中には、夢の実現に向けて、みんなより一足早く奈留島を離れる卒業生もいます。親元を離れての生活は、より厳しく、自分をコントロールする力が求められます。しかし、自分で選んだ道です。負けないようにがんばってください。奈留島から応援しています。奈留高校に進学するみなさんは毎朝校門で会うことを楽しみにしています。小中学生の手本になるようなあいさつをお願いします。



職員合唱

卒業式のサプライズ企画として、卒業生の見送りの時に、全職員で「3月9日」を合唱し、卒業生の前途を祝しました。音楽科の先生が音頭を取り、休校中の午後からほぼ毎日練習に励みました。合唱コンクールを思わせる厳しい練習を行った甲斐あり、卒業生や保護者の方に喜んでいただきました。

人事異動

以下の職員が転出・退職いたします。たいへんお世話になりました。

所属	氏名	転出先
小	田中奈穂美	五島市立大浜小学校
中	梶山 明子	諫早市立明峰中学校
中	椎原 美幸	五島市教育委員会
中	金子 陽菜	大村市立竹松小学校
中	三宅 計子	退職
小	野茂 久美子	退職

人のために

突然の休校で子どもたちの動揺や保護者の方のご負担もさぞかし大きかったことだとお察し申し上げます。

学校の方も初めての出来事でやや混乱しました。そんな中、先生方は、土日でも出勤し、子どもたちが休校中、学習するプリントを準備したり休校の対応に追われました。

休校からの気づきは、「子どもたちのいなくなった学校は寂しくて、楽しくない」「私は子どもたちから元気をもらっている」ということです。子どもたちも友だちのありがたさや学校の楽しさを気づいてくれたのではないかと思います。また、全国的に問題になったマスクの買い占めや転売等、自分さえよければというわがままな行動は責められ、山梨県の中学生のように、「薬局で高齢者がマスクを買えずに困っている姿」を見て、お年玉8万円を使って、マスク600枚を手作りし、山梨県に寄付をした話は、多くの方々から共感され、さわやかな話題として全国に紹介されました。人のための行動は「人の心」を打つことを再認識しました。

本校の卒業式でも、卒業生がステージ上で自分の夢を宣言する場面がありましたが、人のために役に立ちたいと宣言する子どもがたくさんいました。あこがれから夢そして志へ6年間9年間の学びの成果だとうれしく思いました。

成長が見られた奈っ自慢子

今年1年間、様々な場面で子どもたちの成長が見られました。

発表が苦手な子どもが、授業や集会で手を上げて、堂々と自分の考えを言えるようになったり、あいさつができなかった子どもが、遠くから大きな声であいさつができるようになったり、学習面でもこれまでわからなかった問題が解けるようになったり、縄跳びが上手になったりと、一人一人が成長し、小さな自信を持って、進学・進級してくれることだと思います。

学校の使命は子どもたちの無限の可能性を引き出し、磨きをかけて社会に送り出す(ブラッシュアップ)ことだと思っています。

今年度保護者の方々には多くの場面でお世話になりました。次年度も保護者と学校が力を合わせ、子どもたちの成長につながるようよろしくお願いいたします。